

1. めざすもの

地域の子どもをはじめ、みなさんに幅広くご利用いただけるよう、栗東中学校のAED（自動体外式除細動器）を屋外移設する社会実験を行います。いたずらなどの課題がなければ、市内全域に拡大する予定です。

2. 経緯と背景

これまで栗東市においては、市内全小中学校にAEDを設置し、非常に備えてまいりました。また、地域の方にも利用いただけるよう、設置場所を各校の玄関付近に統一してきました。しかし、土日祝日や深夜など、校舎が施錠されている時には利用は困難で、社会スポーツ団体等から、利用しやすい環境づくりが求められてきました。

3. 社会実験から始める

そこで、各校のAEDの屋外移設と利用拡大に向けて検討を進めてきました。そして、この度栗東中学校において、実際に屋外移設を行い、その効果とリスクについて検証する社会実験を行うこととしました。

4. リスクに向けた備え

- (1) 本来、医療機器であるAEDの販売には厳密な資格が求められ、資格のない個人による販売や転売は行えません。その点では、悪意のある盗難被害のリスクは低いと判断されています。
- (2) 屋根があり風雨をしのげる場所への移設、および真夏の直射日光下による高温と真冬の氷点下環境でも一定温度を維持できる保管庫に格納することで、劣化や故障を防ぐができます。
- (3) AEDの重要性や屋外設置の意義について、協力校において周知・指導を行うことで、児童生徒のいたずら行為を防ぐことが期待されます。
- (4) 万一、棄損や亡失が発生した場合は、速やかに栗東市教育委員会（学校教育課）で代替機の手配を行います。

5. 市内全小中学校への展開に向けたスキーム

期日	取組	担当課など
R6(2024年12月)	企画立案・起案・準備（調達）	協力校・学校教育課
R7(2025)年1月	社会実験スタート（栗東中学校：屋外移設）	協力校・学校教育課
10月	結果の評価と展開に向けた判断	教育委員会
	市内11校の屋外設置に向けた予算要求	学校教育課
R8(2026)年4月	市内11校の屋外移設	学校教育課